



インターネットでオールカラーの記事が読めるよ！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか

検索

第165号平成28年2月25日発行  
盛岡農業改良普及センター  
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎  
TEL 019-629-6726 FAX 019-629-6739

## 水稻新品種「銀河のしずく」について

「銀河のしずく」は、岩手県農業研究センターが約10年を費やして開発した、あきたこまちに優る良食味品種で、平成28年から県内約100haで一般栽培が始まります。

県では、品質・食味ともに全国トップクラスの評価を獲得し、新しい岩手の顔として、県内外から広く愛されるお米となることを目指した各種取組を展開していくこととしています。

このため、「銀河のしずく」の特長が最大限に発揮される栽培を徹底し、特A評価の美味しいお米を届け続けることが重要であることから、県では、品種特性や栽培管理の留意点、管理の具体的基準などをまとめた【「銀河のしずく」高品質・良食味米 栽培マニュアル（平成28年産用）】を作成し、今後、各地域でこのマニュアルを活用した栽培講習会等が開催される予定となっています。

盛岡農業改良普及センターでは、各JA等と協働し、管内約50ha分の生産者の皆様に、育苗から収穫・乾燥調製までの間、生育状況や栽培管理の留意点等について、講習会・指導会等による情報提供を継続して行うこととしています。

### 【銀河のしずく 栽培特性】

出穂期：中生の中（あきたこまちより遅い）  
耐冷性、耐病性、耐倒伏性：あきたこまちに優る  
割れ粳：あきたこまちより少ない

### ～ 栽培マニュアルから抜粋 ～

穂は止葉より低い位置にあり、遠目には黄化が進んでいない印象を受けます。粳の黄化割合は穂を両手で持って正しく判断すること。



写真 成熟期直前の草姿（H27）

## 普及現地情報を紹介します！！

### 法人組織が社会保険について学びました

1月6日、盛岡農業改良普及センターと盛岡広域振興局農政部は、管内の農事組合法人を対象とした社会保険に関する研修会を開催しました。この研修会は、果樹を経営の柱とする農事組合法人からの労務管理等に関する相談をきっかけに、今後の組合の雇用等について考えてもらおうと企画したもので、社会保険労務士の横山信英先生を講師にお招きして実施しました。

当日は、りんごを栽培する法人2組織から役員10名が参加しました。講師からは社会保険制度の概要、農業現場での話題、労働条件に関する通知の記載方法等について、3時間に渡ってより具体的な話があり、参加者の関心は高く、熱心に聞き入りました。また、総括的に「世界に冠たる日本の社会保険は、農業の法人組織（広く地域農業）を担っていく人材の育成・確保にとって最重要条件との認識で経営してほしい。」とのアドバイスがあり、その後の質疑応答も非常に活発に行われました。



## 「脳」と「こころ」を花で元気に！

### もりおか広域花の女子会 2015

#### 第3回開催

11月27日、第3回もりおか広域花の女子会2015が開催されました。

今回は「脳」と「こころ」に対する花の効用をテーマに、独立行政法人農研機構花き研究所の望月主任研究員による、講演とワークショップです。

講演では、事故や病気等で脳を損傷し、記憶力や注意力が低下した方に対して、フラワーアレンジメントを通じ、機能障害の改善と社会復帰を目指す活動についてお話いただきました。

その後、望月氏が開発したフラワーアレンジメント・キットを使った、ワークショップを行いました。参加者からは、「花が脳と心に良い効用があるということを改めて認識した。自身や他の人にも花で良い影響を与えたい。」といった感想が出されました。

生産者が、花に対する新たな視点や効能を知る良い機会になりました。



## 自身の基準となる品種を模索！

### トルコギキョウ品種検討会を開催

去る12月17日、生産者35名、主力メーカー4社が集まり、トルコギキョウの品種検討会を開催しました。

岩手中央農協は、毎年新しいトルコギキョウ生産者が増加しており、今年は11月末時点で約17万本を出荷し、系統出荷額が県内第1位となりました！

しかし、今年出荷された品種数は160以上あり、生産者がそれぞれの特性を把握しきれないため、品質のばらつきが問題となっています。

そのため、メーカー各社には新品種や主力品種の特性や適した作型について重点的に説明していただきました。加えて、普及センターからは今年の振り返りと、次年度の課題を話し、今後は各自の基準となる品種を模索していくこととしました。

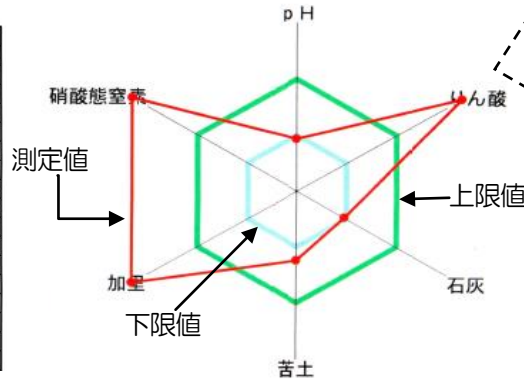
栽培が拡大する中で、産地を継続するために、品種選定や品質の平準化、土づくりなども視野に、今後も関係機関一体となった活動を展開していきます。



## 土壌診断処方箋を読み解く

2. 分析結果と改良目標値

項目	単位	分析値	目標値
pH		7.00	6.00
EC	mS/cm	1.00	0.30
りん酸吸収係数			
有効態りん酸	mg/100g	400	20
CEC	me/100g	30.0	
交換性石灰	mg/100g	700	403
交換性苦土	mg/100g	100	60
交換性加里	mg/100g	200	28
塩基飽和度	%	114.2	60.0
石灰苦土比		5.0	4.0
苦土加里比		1.2	2.0
有効態けい酸	mg/100g		
遊離酸化鉄	%		
腐植	%		
アモニウム態窒素	mg/100g		
硝酸態窒素	mg/100g		20



### ～処方～

分析値、チャートを見ると硝酸態窒素、りん酸、加里が上限値よりも高い値となっているため、除塩や減肥などの対策を行って目標値に近づけましょう。家畜ふん尿が主体の堆肥はりん酸や加里成分が多いので、施用を控えるか、もみ殻やわら堆肥など有機物主体で養分量の多くない堆肥に切り替えるようにしてください。

### 土の状態を把握するポイント！

①pH：高いとアルカリ性、低いと酸性に傾いていることを示します

→対象品目の適正pHになるように改良しましょう！

②EC：ECが高い⇨硝酸態窒素が多い

→過剰だと塩類障害を起こしますので、除塩、減肥といった対策を取りましょう！硝酸態窒素は水に溶けて流れるので、ハウスの屋根をはいで雨や雪にさらす、大量にかん水して代かきをするといった除塩方法が有効です。

③CEC：土の保肥力

→この値が低い場合は堆肥や有機質をしっかりと施用しましょう！

④塩基のバランス：チャート（右上の図）、塩基飽和度、石灰苦土比、苦土加里比は適正值か？

→塩基飽和度が100を超えている場合は肥料過剰です。これ以上の蓄積は避け、減肥しましょう！

土壌診断で土壌の化学性を改善することと併せて、土壌の生物性（土壌微生物などの多様性、土壌病害の発生状況）や土壌の物理性（透水性、通気性、土の膨軟さ）なども改善していき、健全な土づくりを目指しましょう！

